

開館20周年記念企画展

SHIBATA BAN-YO

柴田晩葉

— 湖都のモダン日本画家 —

平成23年3月5日(土) — 4月17日(日)

大津市歴史博物館

開館時間：午前9時～午後5時 (入場は4時30分まで)

休館日：月曜日(3月21日を除く)、3月22日

観覧料：一般 800 円 (640 円) / 高大生 400 円 (320 円) / 小中生無料

※() 内の料金は、15 名様以上の団体割引、または大津市内在住の 65 歳以上の方・大津市内在住の障害者の方の割引料金(割引適用の際、証明するものをご提示ください)

※前売り券は、大津市内観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード 59870)をはじめ京阪津地区のおもなプレイガイドで2月9日から発売

主催：大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞社

後援：NHK大津放送局・エフエム滋賀

晩葉
柴田



■ 宇治の茶摘 (部分)



■ 雲竜図阿形 (部分) 青龍寺蔵



■ 大佛の鐘



■ 寿老人



明治京都画壇を竹内栖鳳と二分した山元春挙や院展の長老として活躍していた小倉遊亀など、湖都・大津が育んだ日本画家は少なくありません。柴田晩葉(しばたばんよう・1885-1942)もその一人です。京都美術工芸学校研究科を修了し、京都絵画専門学校二期生として卒業した晩葉は、春挙の門人として、大正時代の夜明けとともに画壇にデビューします。そして、当時の最先端の美術モードから影響を受けた、モダンな作品を手がける一方、牧歌的な詩情にあふれた作品も制作しました。その二面性を持つ作風は、京都で芸術の気風の刺激を受けつつ、湖国の街・大津で情緒をはぐくんだ人物ならではの、特異な魅力といえます。文展・帝展で入選を重ね、大津の人々からは、「凱旋將軍に対する如き賛辞」を受けて、期待を一身に集めました。終戦をまたずに没し、戦後の日展で活躍することなく、知る人ぞ知る画家となってしまった晩葉。本展では、近年再発見された大作などを中心に、ユニークな表現を貫いた大津の日本画家の仕事にスポットライトを当て、改めて晩葉の魅力を紹介するものです。

※会期中展示替えがございます。詳しくは、大津市歴史博物館までお問い合わせください。

関連講座

◎3月26日(土) 13:30-15:00

「水野藩と近江そして柴田家」小森重紀氏(早稲田大学国際情報通信センター研究員)

◎4月9日(土) 14:00-15:30

「柴田晩葉と大正日本画界」島田康寛氏(立命館大学先端総合学術研究科教授)

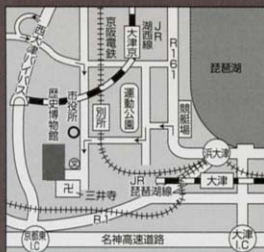
※開始時間にお気を付け下さい。有料。事前申込要。詳しくは大津市歴史博物館まで。



■ 落葉掃き



■ しじみ舟 豆蔵蔵



【交通機関】

京阪電鉄石坂線別所駅より徒歩5分
JR湖西線大津駅より徒歩15分
JR琵琶湖線大津駅よりバス10分別所下車
無料駐車場(乗用車約70台)

☆前売券は、大津市内観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード59870)をはじめ、京阪津地区のおもなプレイガイドで2月15日から3月16日まで販売。

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>

区分	個人	団体・前売
一般	800円	640円
高校・大学生	400円	320円
小・中学生	無料	無料

※団体は15名様以上。大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障害者の方は団体・前売料金。(証明するものをご提示下さい)